

Press Releases

広報第 12-017
2012 年 10 月 16 日

搭載用航空日誌への署名に関する行政指導について

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:高橋洋)は、搭載用航空日誌への署名に関する事象により、本日、国土交通省より嚴重注意を受けましたので、ご報告致します。

2012 年 9 月 12 日羽田発宮崎行き 61 便の運航終了後、搭載用航空日誌への必要事項記入後の機長署名を失念し、後続便である宮崎発羽田行き 64 便を機長の署名がない状態で運航しました。また、同日の乗務終了後、当該機長は署名失念に気づき羽田整備事務所へ連絡したものの、整備士(確認主任者)が搭載用航空日誌の機長署名欄への代筆を提案、機長と合意で代筆による署名を行い、同日から 9 月 14 日までの間において正式な機長署名がないまま合計 11 便を運航したものです。

当社は、2009 年 5 月 19 日に、搭載用航空日誌への機長および確認主任者の署名忘れに関して「嚴重注意」の行政指導を受けており、その後機長署名に関しては今回を含めて 6 回の事例が発生しております。発生の都度、当局の指導の下で対策を講じて参りましたが、今後二度と同様の事象が発生することのないよう社内一丸となって取り組んで参ります。

皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び致します。

安全は経営方針の最重要課題であり、航空輸送の原点であることを改めて肝に銘じ、再発防止と信頼回復に努めてまいります所存です。

以上